



2026年7月2日

各 位

会 社 名 オ ー エ ス ジ ー 株 式 会 社
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 大 沢 伸 朗
(コード : 6136 東証プライム・名証プレミア)
問 合 せ 先 経 営 戦 略 セ ン タ ー 長 溝 渕 和 義
(TEL. 0 5 3 3 - 8 2 - 3 2 8 9)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2026年1月8日に公表いたしました2026年11月期第2四半期（累計）の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2026年11月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2025年12月1日～2026年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	81,300	10,350	10,850	7,200	87.64
今回修正予想(B)	92,000	15,600	17,100	12,500	152.14
増減額(B-A)	10,700	5,250	6,250	5,300	
増減率(%)	13.2	50.7	57.6	73.6	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2025年11月期第2四半期)	77,379	9,484	9,915	6,483	76.94

2. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間においては、為替相場が期初想定より円安に進行したことに加え、超硬工具の主原材料であるタングステン価格の上昇を受けたものの、価格上昇前に調達した原材料を使用したことによる収益性向上もあり、利益面は当初想定を上回って推移いたしました。

また、自動車関連向け需要は力強さを欠く状況が続いたものの、米州においては製造業全般の需要が堅調であったこと、欧州では航空機、医療および発電関連向けの需要が堅調に推移したことに加え、アジアでは中国国内を中心に、電子部品、半導体製造装置およびデータセンター関連向けの需要が好調でありました。

これらの需要拡大に伴い、日本からの輸出販売が増加したことに加え、国内生産拠点および材料・コーティング事業を担うグループ会社の稼働率が向上したことも寄与し、売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する中間純利益が前回公表予想を上回る見込みとなったため、業績予想を上記のとおり修正いたします。

なお、通期の連結業績予想につきましては、確定次第速やかに開示いたします。

以 上